

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局
〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室
TEL：0263-37-2622 FAX：0263-37-3499
発行責任者：地方会長 野見山 哲生

巻頭言



北陸甲信越地方会長就任挨拶

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会長

信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 教授 野見山 哲生

本年3月より、中川秀昭前地方会長に代わり、日本産業衛生学会北陸甲信越地方会の地方会長を務めております野見山哲生です。どうか宜しくお願ひします。地方会長として、ご挨拶と抱負を述べさせていただきますと思います。

北陸甲信越地方会は、昭和27年から新潟医科大学赤崎兼義教授、昭和31年から新潟大学医学部の渡辺巖一教授を地方会長として活動としてきたものを、昭和33年信州大学医学部衛生学の小松富三男教授を地方会長とし、松本市で創立総会を開催し、正式に発会した信越北陸地方会に源を発します。その後昭和47年に山梨県が加わり北陸甲信越地方会と名称を変え、現在に至っています。

本地方会を構成する6県（石川、福井、富山、山梨、長野、新潟）では、いわゆる中小企業の従業員割合は87.1%であり、全国の70.1%、東京43%を代表する都市圏と比して高く、小規模企業の従業員割合も34.2%であり、全国23.5%、東京9.7%と比して高い状況にあります。中小企業における労働災害の状況を、従業員規模別（100人以上の統計）の労働災害率（度数率、強度率）でみると、災害発生の頻度を表す度数率は、100～299人2.20、300～499人1.52、500～999人1.06、1,000人以上0.39、災害の重さの程度を表す強度率は、それぞれ0.08、0.09、0.04、0.03で、規模が小さくなると労働災害の頻度が明らかに増え、強度も重くなっており、労働災害という観点から、中小企業は大企業に比し環境が良くない状

況が分かります。中小企業では産業保健に係わる専門職がない場合も多く、体制は大企業と比して十分で無く、専門職、スタッフが各職種の役割を超えて業務を行う必要性も生じます。更に、有害業務や職場環境も、大企業では対応済みの状況に直面し、対応を求められる場面もあり、より多様で多面的知識と経験が求められます。

以上のような特徴を持つことから、本地方会の会員が、労働者に等しく産業保健サービスが届けることができるよう、学びの多い地方会にできればと思っています。そのために、産業保健の現場で活躍する本地方会のメンバーが増え、職場の産業保健活動に役立つ研究や活動が学会発表、論文という形で発信できるよう、地方会内の活動がより活性化するよう支援して参りたいと思います。この地方会報も、本学会、地方会がどのような動きをし、どのようなメンバーで活動しているか、が伝わるような役割を果たせばと思います。

皆で切磋琢磨し、力を合わせ活動していきたいと考えています。今後の地方会運営に、皆様には忌憚りの無いご意見をお寄せ頂ければ幸いです。今後も宜しくお願い申し上げます。

参考資料：

- 2016年版中小企業白書
- 平成27年労働災害動向調査（事業所調査（事業所規模100人以上））平成28年4月及び総合工事業調査）の概況

特別寄稿

日本産業衛生学会のビジョンと
活動について (2017-2018)

日本産業衛生学会 理事長 川上 憲人

記念すべき日本産業衛生学会北陸甲信越地方会ニュース創刊号に寄稿の機会をいただき、御礼申し上げます。日本産業衛生学会（以下、本学会）第12代理事長への就任にあたり、北陸甲信越地方会の皆様にご挨拶を申し上げます。

さて、平成29年7月23日の理事会の議を経て、2017-2018年度の本学会のビジョンを「産業保健の新しいリーダーシップを考える」といたしました。リーダーシップとは「ビジョンを持ち、これを現実にすること」です(1)。急速に変化する社会においては、保健医療専門職が知識や技術を習得しているだけでは不十分であり、これらを使って実際に社会に貢献する能力を持つことが必要になっています(2)。そうした新しい能力（コンピテンシーと言います）の1つが「リーダーシップ」です。

本学会に関して言えば、これには2つの側面があります。1つ目は、変化する産業保健の状況の中で、本学会が専門職集団としてのリーダーシップを発揮することです。このために、行政、経営者団体、労働組合、日本医師会などの関係者（ステークホルダー）、国内他学会、国際学会やアジアの産業保健関連学会と連携を進めます。また本学会のさまざまな委員会活動に基づく情報発信を一層進めます。

2つ目は、学会員1人1人が、性別や年齢、職種や立場に関係なく、複雑な産業保健の現場において、自らのビジョンを持ちこれを現実にする、すなわちリーダーシップをもって産業保健活動を推進できるようにこれを支援することです。リーダーシップは生まれつき決まっている能力ではなく、学習や経験によって向上できるものとされています。リーダーシップは地位の高い人だけが行うものではなく、どんな立場の人でもその立場にあったリーダーシップを行うことができます。この機会に学会員には、産業保健にお

ける自分のビジョンは何だろう、これを実現するにはどのように行動すればいいだろうということを考えていただきたいと思います。「必要と考える活動を事業場内で進めたいと考えているけど、経営側に納得してもらえない」「新しい産業保健の方法を着想したけど、周囲に理解してもらえない」そんな時にこそ、自分のリーダーシップを見直し、さまざまな人たちのリーダーシップの経験から学んで、ビジョンを実現に近づける方法を考えていただきたいと思います。本学会は、学会員のリーダーシップを応援するために、根拠に基づいた産業保健を推進する体制づくり、地方会連携、男女共同参画を進めます。また4部会（産業医部会、産業看護部会、産業衛生技術部会、産業歯科保健部会）、生涯教育委員会、専門医制度委員会、産業保健看護専門家制度委員会には、産業保健専門職に期待されるリーダーシップのあり方を踏まえた活動を進めていただきます。

産業保健の新しいリーダーシップのあり方、そしてこれを向上させる方法はまだ十分に明確ではありません。まずは考え、試行することから始めたいと思います。この2年間に本学会が産業保健のリーダーシップのあり方を明確にし、可能なものから実行することで、これから数十年にわたる産業保健の新しい時代を拓くことができると期待しています。

文献

1) Alon I, Higgins JM. Global leadership success through emotional and cultural intelligences. *Business Horizons* 2005; 48 (6): 501-512.

2) Frenk J, Chen L, Bhutta ZA, Cohen J, Crisp N, Evans T, Fineberg H, Garcia P, Ke Y, Kelley P, Kistnasamy B, Meleis A, Naylor D, Pablos-Mendez A, Reddy S, Scrimshaw S, Sepulveda J, Serwadda D, Zurayk H. Health professionals for a new century: transforming education to strengthen health systems in an interdependent world. *Lancet*. 2010; 376(9756):1923-58.

受賞報告

おめでとうございます

平成29年度 安全衛生に係る優良事業所、
団体又は功労者に対する厚生労働大臣表彰

功績賞

野見山 哲生 先生

(信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

興梠 建郎 先生

(新潟産業保健総合支援センター)

疋 暎雄 先生

(長野産業保健総合支援センター)

「護だより」の発行(8/1)など

・産業看護研究会(新潟) 総会(5/21)、
研究会・研修会(5/21, 6/4, 9/24,
11/12, 12/10)など

・産業看護研究会(富山) 総会(3/8),
学術集会(3/8), 交流会(3/8, 9/6),
セミナー(5/17, 6/14, 7/12, 9/6,
11/12,)など

・産業看護研究会(石川) 役員会(3/27,
1/21)、研修会(6/11, 8/6, 10/1, 11/9,
2/21)

・産業看護研究会(福井) 研究会(6/14,
11/8)

6. 研究会活動

・衛生管理者研究会(山梨)
総会: 6/10, 役員会: 1/23,
研修会: 計17回

・衛生管理者研究会(長野)
緊急企画(セミナー): 2/18

・衛生管理者研究会(新潟)
衛生管理者研修会: 10/21

事業報告

平成28年度北陸甲信越地方会 事業報告

1. 常任理事会(金沢) 6/25
2. 地方会研究助成 該当事なし
3. 理事会(福井) 10/22
4. 第59回北陸甲信越地方会総会(福井) 10/23
5. 各部会活動
 - 1) 産業医部会
総会、地方会パネルディスカッション 10/23
長野県衛生管理者研究会共催セミナー2/18
 - 2) 産業看護部会
【地方会(看護)】
看護部会幹事会等の情報共有(メール発
信)、看護部会機関誌(産業看護フォー
ラム)の各県への配布
北陸甲信越地方会総会、看護部会総会交流会
【各県の活動】
・産業看護研究会(山梨)
幹部会交流会(12/7)など
・産業看護研究会(長野) 役員会(3/5, 3
/11, 4/2, 7/4, 7/9)、総会(3/11)、
研修会(3/11, 7/9)、ブロック会、「産業看

事業計画

平成29年度 北陸甲信越地方会 事業計画

1. 常任理事会(山梨) 6/17
2. 地方会研究助成
3. 理事会(山梨) 10/14
4. 第60回北陸甲信越地方会総会(山梨) 10/15
5. 各部会活動
 - 1) 産業医部会
総会、地方会共催で研修セミナー、特別講演
 - 2) 産業看護部会
機関誌の配布、各県看護研究会の支援
6. 研究会活動
 - ・衛生管理者研究会(山梨)
総会(6月)、研修会(毎月)
 - ・衛生管理者研究会(長野)
シンポジウム : 2回
 - ・衛生管理者研究会(新潟)
衛生管理者研修会: 10月

日本産業衛生学会 役員・委員一覧

日本産業衛生学会役員・委員会で役員・委員に就かれている地方会員の先生方をご紹介します。

役員	名前
理事	中川 秀昭、野見山 哲生
委員会	
編集委員会	野見山 哲生、森河 裕子
許容濃度等に関する委員会	日下 幸則、野見山 哲生
生涯教育委員会	亀田 真紀
政策法制度委員会	中川 秀昭

(五十音順)

研究助成のお知らせ

平成30年度 北陸甲信越地方会 研究助成公募

当地方会では医師以外による研究活動をより一層推進するために下記のとおり研究費助成を行います。ふるってご応募ください。

- 対象
 - 産業医学分野における優れた業績が期待できる研究または実践活動
 - 医師以外の地方会所属の会員によるもの
- 研究助成金
1件につき5万円
- 採択件数
1または2件
- 提出書類
平成30年度日本産業衛生学会北陸甲信越地方会研究助成金申請書(別途)
- 申請書の提出先
信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室
上條知子 宛(担当)
送付先：〒390-8621 松本市旭3-1-1
TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499
e-mail : kamijoh@shinshu-u.ac.jp
- 申請書の提出期限
平成30年5月31日(木)
- 交付の決定
厳正な審査の上採択者を決定し、平成30年6月

末までに審査結果を申請者宛に通知する。

8. 研究成果の発表

第61回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会(平成30年10月)にて成果を発表する。

学会・研修会のお知らせ

第60回北陸甲信越地方会総会

学会長： 今井 立史 先生
(山梨県医師会長)

日時： 平成29年10月15日

会場： ホテル談露館
(山梨県甲府市丸の内1-19-16)

にて開催致します。本総会では一般参加も可能な特別講演を3題用意しております。

詳しくは、皆様にお配り、並びにHPに掲載しました地方会総会のチラシをご覧ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会議報告

平成29年度 北陸甲信越地方会 常任理事会

日時：平成29年6月17日(土曜日)
13時00分～15時00分

場所：長野 東急 REI ホテル

出席：野見山 哲生(地方会長)、中川 秀昭(日本産業衛生学会 理事)、稲寺 秀邦、城戸 照彦、佐藤 一博、高橋 英尚、塚原 照臣、(以上常任理事)、丸山 明則(理事)、金子 誉(監事)、上條 知子(幹事)

陪席：丸山 猛士、水木 将

欠席：中平 浩人(常任理事)

審議・報告事項

- 地方会役員の交代について
- 平成28年度事業報告ならびに決算報告
 - 平成28年度事業報告
 - 平成28年度決算報告
- 平成28年度会計監査報告
- 平成29年度事業計画案ならびに予算案
 - 平成29年度事業計画
 - 平成29年度予算案
- 研究助成について

6. 地方会規約の改正について
7. 本部理事会報告
8. その他
 - 1) 会員数について
 - 2) 各部会について
 - 3) 今後の課題について
 - (1) 地方会ホームページの作成
 - (2) 地方会ニュースの創刊
 - (3) 研修会および研究会活動支援
 - (4) 研究会助成の今後について
 - 4) 北陸甲信越地方会総会について
 - 5) 地方会 産業衛生指導医、専門医、研修施設の現状について
 - 6) 常任理事会開催場所について

松澤 幸範（昭和電工（株）塩尻事業所）

監事：金子 誉

（山梨厚生病院・予防医学センター）

田畑 正司（石川県予防医学協会）

幹事：上條 知子

（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

（以上、五十音順）

地方会 役員一覧

会長：野見山 哲生

（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

常任理事：稲寺 秀邦

（富山大学医学部公衆衛生学）

城戸 照彦

（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

佐藤 一博

（福井大学医学部環境保健学）

高橋 英尚

（山梨産業保健総合支援センター）

塚原 照臣

（信州大学医学部産業衛生学講座）

中平 浩人（新潟青陵大学）

理事：飯塚 康彦

（長野県医師会産業保健委員会）

大芝 玄（大芝医院）

大滝 美恵

（公益財団法人福井県労働衛生センター）

小田切 陽一（山梨県立大学）

上棚 直人（石川県医師会）

黒田 譲

（福井産業保健総合支援センター）

興梠 建郎

（新潟産業保健総合支援センター）

小山 善子

（石川産業保健総合支援センター）

杉森 成実（杉森クリニック）

藤澤 貞志（藤澤医院）

丸山 明則（新潟県医師会）

ホームページのお知らせ

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会では、ホームページでも情報発信を行っております。ホームページでは当地方会ニュースの pdf や今後の行事案内、事務局からの案内などを配信しております。

ホームページアドレスは、以下の通りです。

ぜひ皆さまのアクセスをお待ちしております。

HP アドレス⇒ http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/pmph/sanei_chihoukai/index.html

編集後記

この度、北陸甲信越地方会のニュースレターを発刊することができました。

発刊に先立ちまして、ご協力、ご尽力いただきました先生方へ感謝申し上げます。

今後、各部会の報告や、学会、受賞など地方会員皆様の活動を積極的に紹介したいと考えております。そして、地方会員の皆様により活発な活動をもとに、さらなる産業保健の発展を皆様とともに担っていきたいと思います。ご意見やご感想を今後のために編集委員まで頂ければ幸いです。

まだまだ至らない点もあるかと存じますが、よりよい情報を発信するため、努力して参ります。

今後ともよろしくお願い致します。

編集委員名簿（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、大芝 玄、小坂 智恵子、佐藤 一博、

高山 英之、角田 ひろみ、

西澤 依小、松永 康弘

事務局：上條 知子、水木 将